

平成28年度第13回中郷区地域協議会次第

日 時:平成29年3月29日(水)18時30分～

場 所:中郷区総合事務所 第4会議室

1 開 会

2 報 告

(1) 平成29年度中郷区の主な事業について …資料No.1

3 協 議

(1) 自主審議事項について …資料No.2

4 その他

5 閉 会

# 平成29年度 中郷区予算の概要について

資料No.1
第13回地域協議会
H29. 3. 29

## 【予算のポイント】

「すこやかなまち～人と地域が輝く上越～」の実現に向け、第6次総合計画の3つの重点施策 [暮らしの安心感を高める“つながり”の構築] [地域の元気と働きがいを生む産業の創出] [交流圏の拡大を生かした豊かさの向上] をキーワードに、中郷区の地域特性を生かし、かつ、住民要望に応える事業の計画的な推進を図るために必要な予算を要求した。

### 1 暮らし ～暮らしの安心感を高める“つながり”の構築～

#### ○機能的・安定的な都市基盤の整備

◆消雪パイプ・流雪溝修繕	3,692千円
◆芋川排水路整備事業 取水口1式	52,000千円
◆道路維持管理費 市道の維持・修繕	14,582千円
◆農業用施設修繕 猿崩れ用水ガードレール修繕	1,296千円
◆しなのわかし最終処分場最終覆土工事	9,151千円

#### ○市民が主体のまちづくり

◆中郷区地域活動支援事業	5,600千円
◆中郷コミュニティプラザ管理運営費	22,150千円
◆中郷コミュニティプラザ外部改修工事	49,929千円

#### ○学校教育の質の向上

◆スクールバス運行事業	6,233千円
-------------	---------

### 2 産業 ～地域の元気と働きがいを生む産業の創出～

#### ○多面的機能の維持

◆中山間地域等直接支払交付金 7協定(9集落)	15,082千円
◆環境保全型農業直接支払交付金 4協定(9集落)	5,267千円
◆多面的機能支払交付金 13協定(13集落)	25,936千円

### 3 交流 ～交流圏の拡大を生かした豊かさの向上～

#### ○交流人口の拡大

◆中郷区地域振興事業 (なかごう夏まつり、中郷雪ん子まつり等の推進)	1,096千円
◆中郷区観光施設等整備事業 (泉縄文公園ほか観光施設の維持・修繕)	5,575千円
◆二本木駅駐車場舗装修繕事業	594千円
◆はとぴあ中郷管理運営費	17,969千円

#### ○社会教育・文化活動の推進

◆中郷区体育施設管理運営費	8,295千円
◆スポーツ活動推進事業 (体育祭、松ヶ峯トリムマラソン、歩くスキーとXCスキー大会)	795千円

中郷区における「地域の課題」と「目指すべき方向性」

分野	項目	課題の内容	目指すべき方向性
暮らし	少子高齢化 & 人口流出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中郷区に住んでみたいと思えるような状況にしないと、人口が増えない、子どもが増えない状況が続いてしまう。</li> <li>・若者が進学や就職を機に、地元を去っていくケースが多く、人口減の一因になっている。</li> </ul>	<p>◎ 中郷で実現できる多様な暮らし方の魅力をアピールしよう！</p> <p>&lt;例えば&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全な子育て環境を整えて、子育て世代にアピールする</li> <li>・空き家情報の共有と活用に向けた組織的な取組を進める</li> <li>・空き家などを活用して、新しい住まい方を若者や移住者向けに提案する</li> <li>・若者が気軽に楽しく集える場所をつくる</li> <li>・魅力的な暮らしを実現している人から情報発信してもらう</li> <li>・地域を挙げて住環境の整備に取り組む</li> </ul>
	空き家 (利活用) & 移住	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住める状態の空き家対策を充実していく必要がある。</li> <li>・区内でも移住やシェアハウスの実績があることから、このような情報を積極的に共有できる形はとれないか。</li> <li>・移住者を呼ぶうえで大変重要と思われるPR活動が不足している。</li> </ul>	
	空き地の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏場は草が非常に茂っており、環境面や防犯上問題がある箇所については、何等かの対処が必要。</li> </ul>	
	通学路の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂本の踏切付近は、草が非常に茂っており、歩道を圧迫している。加えて、歩道橋は冬期間、凍結による転倒が心配される。</li> </ul>	
	克雪・利雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消雪パイプの老朽化や地下水の不足などにより、各所で降雪時の交通に支障が出ている。</li> <li>・雪を楽しむイベント等をもっとPRするべきではないか。</li> </ul>	
福祉	公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗合タクシーの利用率が低い状況が続いている。当制度を持続的に継続するための仕組み作りは、地域ならではの課題である。</li> </ul>	<p>◎ 雪に負けない暮らしをアピールしよう！</p> <p>&lt;例えば&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期間の暮らしを守る克雪住宅の再整備を進める</li> <li>・雪を活用し、雪を楽しむ暮らしを積極的にアピールする</li> </ul>
	高齢者の生きがいづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の経験や知識は地元にとっての財産だが、なかなか出てくる機会が無く埋もれてしまっている。</li> <li>・元気な高齢者が生きがいを持って働き続けられる組織づくりも必要ではないか。</li> </ul>	<p>◎ みんなで公共交通を守ろう！</p> <p>&lt;例えば&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や利用者の実情に応じた路線の見直しを行う</li> <li>・月に一回「ノーマイカーデーの日」とし、みんなで公共交通を利用する</li> <li>・地域で出資して「地域バス」を運営する</li> </ul>
	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば先輩のお母さん達が集まって、子育ての相談に乗るなどの支援はできないか。</li> <li>・中郷区は、市内でも子育てしやすい地域だと思われるような環境づくりができないか。</li> </ul>	<p>◎ 高齢者が元気に活躍できるステージをつくろう！</p> <p>&lt;例えば&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が持つ技術や知識を発揮できる場をつくる</li> <li>・高齢者の活動が収入に結びつく仕組みをつくる</li> </ul>
産業振興	二本木駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅への進入路が狭いため流れが悪い。交通や人の流れといったもろもろ含めて、何か、スムーズにできる方法はないか。</li> <li>・駅のトイレや道路、駐車場など、車いすでも利用可能なように整備する必要がある。</li> </ul>	<p>◎ 安心して子育てできる環境づくりを進めよう！</p> <p>&lt;例えば&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なところで子育ての相談に乗れるような仕組みをつくる</li> <li>・親と子どもが安心して集まれる交流拠点をつくる</li> </ul>
	農業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作者の5年後、10年後を考えた時に、荒地を増やさないように何らかの手立てが急務。</li> <li>・個人農家が少しでも残るための支援が必要。</li> <li>・当区は農業に対する生産、とりわけ稲作については市内でも非常に遅れている地域となっている。</li> <li>・耕作しているお年寄りが亡くなれば、誰も作る人がいなくなるというような状況である。</li> </ul>	<p>◎ 二本木駅を中郷区の「にぎわいの拠点」にしよう！</p> <p>&lt;例えば&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅へのアクセスや共用施設を再整備する</li> <li>・鉄道利用者以外の人たちが集まる仕掛けをつくる</li> <li>・スイッチバックを引き立たせる景観づくりを進める</li> <li>・駅前商店街とタイアップしたにぎわいの創出</li> </ul>
	観光振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の観光施設は年々集客率が減少している傾向が見受けられる。何か対策が打てないか。</li> </ul>	<p>◎ 地域の農業を地域で守る仕組みをつくろう！</p> <p>&lt;例えば&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落営農や法人など、地域の農業を守る組織づくりを進める</li> <li>・若い農業者の就農を促す取組を進める</li> <li>・女性や高齢者が農産物直売所に参加しやすい仕組みづくりを進める</li> </ul>
	特産品開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当区にはこれといった特産物が無いので、新たに開発していく必要がある。</li> </ul>	<p>◎ 中郷らしさをアピールできる「見どころ」や「特産品」を育てよう！</p> <p>&lt;例えば&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「桜」に着目した景観形成やお土産づくりに取り組む</li> <li>・中郷で採れる農産物を使って、おもてなし料理や特産品開発を進める</li> <li>・民間連携の取組を進める仕組みづくりを進める（地域の商店や加工組織との連携）</li> </ul>
教育・文化・スポーツ	教育・文化・スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、小学校、中学校と地域の良好な連携関係を一層深められるとよい。</li> <li>・はとびあ中郷や体育館の利用を高める</li> <li>・トリムマラソンやクロスカントリースキーなど、地域性のある取組の一層の振興を図る。</li> <li>・中郷の歴史を次の世代に語り継がないと、いつの間にか消えていってしまうのではないか。</li> </ul>	<p>◎ 地域が誇れる教育・文化・スポーツを育もう！</p> <p>&lt;例えば&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を挙げて子供を育てる機運を高め、子供たちの更なる活躍の場をつくる</li> <li>・中郷の歴史を次の世代につなげていく取組を進める</li> </ul>

住民との意見交換（「地域の課題」と「目指すべき方向性」）で出た主な発言内容

(H29.3.4 中郷区地域協議会活動報告会において)

発言項目	発言内容	回答内容
集落の存続 (少子高齢化 &人口流出) (空き家)	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落の消滅について危惧している。これは一集落のみならず、中郷区全体の問題として長いスパンで考えていかなければいけないと思っている。</li> </ul>	<p>(岡田副会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集落が消滅してしまうのは、人口減少が大きな要因だと思われる。資料にも、少子高齢化&amp;人口流出、それに伴う空き家問題を挙げてある。中郷区には、これらの問題が間近に迫っている集落が多数ある。</li> </ul>
勝馬基金	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝馬の基金が無くなると、中郷区独自の財源は防衛の調整交付金くらいになってしまう。この使い道については、克雪という観点から言えば、消雪パイプを整備するための財源としても利用できるのではないか。</li> </ul>	<p>(総合事務所長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防衛の調整交付金については、今年度まで芋川の排水整備に充当していたため他の事業にまで回っていなかった。来年度は、保健センターの屋上防水・外壁工事に使い、その次に消雪パイプの整備に使っていきたいと考えている。</li> </ul>
調整交付金の 使途	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひばり荘の改築は基金を取り崩して行ったが、今回は無いのだからと思っている。次に改修が必要になった際には、補助金等が無ければ、このような施設も無くなってしまわないか。</li> <li>中学校にはスクールバスがないため、冬期間の送迎は子育て世代にとっては負担だと、周りの人から聞いたことがある。</li> <li>一般の人が乗るバス(タクシー)は、あまり利用がないと聞いている。このため、保育園や小学校のバスに中学生や一般の人が乗れるような環境を作ってもらえるとよいのではないか。</li> </ul>	<p>(竹内(靖)委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勝馬の基金については、10年20年先延ばししても具現化は難しいと思われるため、我々の任期中に使い方をきちんと決めていきたい。使い道は条例により限られるが、子供達や未来につながるようなことができればと思っている。</li> <li>克雪も重要な課題である。中郷村当時、同時期に消雪パイプを敷設したためか、今冬は区内の消雪パイプがほぼ全滅状態であった。この先、1年に1本ずつでも直していかないと、中郷区の消雪パイプが使えなくなってしまう。</li> <li>空き家関係についても、やるべきことがいろいろあると思うが、市の条例に基づいた中で民間と力を合わせていけば何とかできるのではないか。</li> </ul>
通学の送迎 (子育て支援)		<p>(岡田副会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上越市と合併したことにより、勝馬基金は特異なものになった。全市民の目線で見た場合に、中郷区だけ特定財源があるというのはおかしいのではないかという意見も出ている。この問題に片を付ける時期に来ていると感じている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>突拍子もないことを言うようだが、私の近所の人達は中郷村時代の方が良かったと言う者がいる。仮に、上越市から離脱し中郷村に戻った場合どうなるだろうか。どちらにメリットがあるか、改めて考える必要があるのではないか。</li> </ul>	<p>(岡田(龍)委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先ほど集落の消滅について話があったが、仮にこの要因となる少子高齢化や人口流出などの対策を中郷単独で対応していった場合、これから20年30年先に地域として成り立つだろうか。また、予算的にも大いに疑問がある。合併からすでに10年以上経ち、社会や地域も変わってきていることを考えると、元に戻るのには厳しいのではないか。</li> </ul>
上越市との合併 についての検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>中郷村に戻った場合の収入がどれくらいになるのか、試算したことはあるのか。上越市と合併しても、現実的に子供達が中郷から外に出て行ってしまっている。このような状況だからこそ、集落の消滅を危惧している。</li> </ul>	<p>(高橋会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>皆さんから、地域協議会で中郷の独立について取り上げる要望がない限り、このようなテーマで自主審議をする考えは今のところない。むしろ、先ほど青年会の発表でもあったとおり、せっかく若い人が動き出して、次の世代につながりかけになっているのだから、中郷区をもっと良くするために、前進していかねばと思っている。</li> <li>基金の使い道の方向性については、任期中にある程度の目途を付け、市から予算を持ってくるくらいの気概で提案をしていきたい。</li> <li>現在、二本木駅関連の事業は地域活動支援事業を活用して取り組んでいるが、二本木駅周辺を活用して活気が出るのなら、自主審議を行い市に投げかけていくのも一つの手だと考えている。</li> <li>危険家屋の問題を始め、利活用できる空き家についても、何らかの形でまちづくり振興会の中に相談窓口ができると聞いている。協議会の中でも、市で策定した空き家対策計画を活用しながら、研究会のようなことを行っていかねばならないと思っている。</li> </ul>
		<p>(坂田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中郷村当時の一般財源の剰余金が勝馬基金に積み立てられており、この基金がゼロにならなければ我々が中郷村に納めた税金が残っていることになる。基金条例の目的にあった事業を探し、基金の残額で足りない場合は、他の補助金なども活用した上で事業を行うべきだと思う。</li> </ul>